

各位

2022年3月29日

公益財団法人 日本英語検定協会

株式会社マイナビ 就職情報事業本部

— 英語教育改革の推進に関する、企業への意識調査と実態調査アンケート 結果レポート —

英語四技能の重要性について企業側の意識に変化！**我が国の四技能向上推進施策、入試での四技能民間試験の活用を****8割の企業がすでに認識済！****新卒採用時に四技能試験のスコアを評価・参考にする企業も増加傾向にあり！**

公益財団法人 日本英語検定協会、株式会社マイナビは、我が国の英語教育改革の推進（英語の四技能化、小中高大学の連携教育、大学・高校入試の外部試験の活用等）について、企業を対象に、意識調査、ならびに実態調査を主眼とするアンケートを実施し、このたび、調査結果がまとまりましたので、以下、ご報告いたします。

【アンケート実施の趣旨】

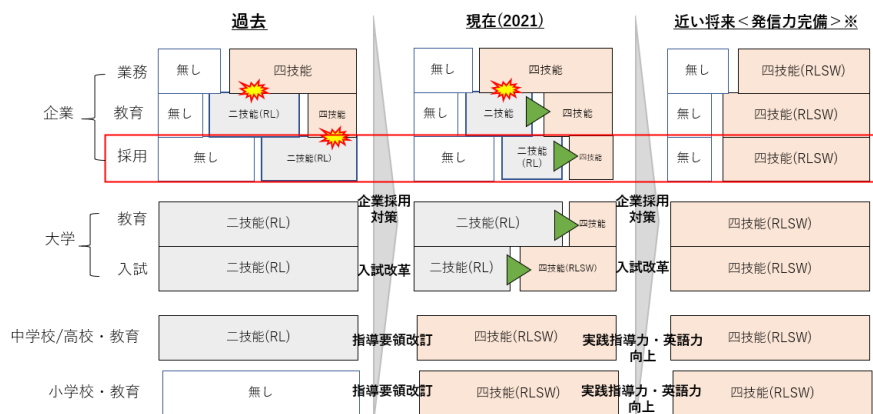
グローバル人材の育成が急務とされ、我が国で英語教育改革が推進されてから10年近く経ちます。国と自治体が連携し、全国の学校現場が一体になるもとで、我が国の英語教育は大きな変革を遂げています。

小学校の低学年から英語教育が開始され、従前の「Reading」・「Listening」の二技能中心の指導から、「Reading」・「Listening」・「Speaking」・「Writing」の四技能を継続的にバランスよく習得する重要性が認識され、それに伴い、小・中・高・大学まで連携した、英語の四技能習得を目的とするカリキュラムが文部科学省を中心に推進されてきました。また大学や高校入試についても、四技能を中心とした外部の民間試験の活用もおこなわれている状況です。

こうした英語教育の変革により、現状の大学生は、従前の学生と比較すると、四技能の英語の習得度合いが高くなっている状況にあり、この状況変化を企業側はしっかり認識しているか、また実際に企業側が採用時に学生に求める英語力を評価する指標に変化はあったか、また入社後、業務に英語力を必要とする社員に対する評価指標は、四技能を意識したものに变化したのかどうか等、調査をおこなう意義があると考えました。

以上、私どもでは、一人でも多くのグローバル人材の育成を達成するためには、小中高、大学の連携に、企業も加わり、小・中・高・大・企業と、産学一体とする、四技能向上連携が重要と捉え、現状を把握するためのアンケートを実施しました。

(イメージ)



以下、調査結果のサマリー、続けて詳細なアンケート項目を記載いたします。ご参照願います。

【調査結果サマリー】

調査対象： 「東京証券取引所 第一部上場企業グループ」、および「マイナビ・日経 2022 年卒大学生就職企業人気ランキング文系・理系総合ランキング上位 100 位以内の企業」

調査期間： 2021 年 11 月 9 日～12 月 24 日

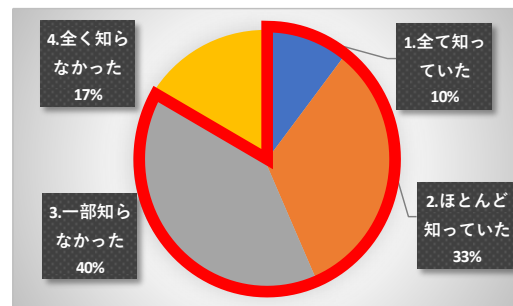
ご回答いただいた 116 社に関して、

- 80%以上の企業が、英語教育が二技能から四技能に変化していることを認識済み
- 同じく 80%近くの企業が、大学入試で四技能を中心とする民間試験が広く活用されていることも認識済み
- 90%近くの企業が、新卒採用時、学生がこれまで取得した民間試験のスコアを評価・参考
- うち 50%以上の企業は、すでに四技能を測定する民間試験のスコア（英検等）を評価・参考
- 一方、二技能のスコアを評価・参考にしている企業も、80%近くは四技能で評価するのが好ましいと回答
- うち 70%近くの企業が、今後、四技能のスコアを評価・参考とすることを検討
- 新卒採用時に限らず、英語を必要とする社員で最も不足しているスキルについて、約 40%の企業は二技能試験では測れない Speaking と回答
- また Speaking だけに限らず、社内では四技能の能力をバランスよく向上することを重視

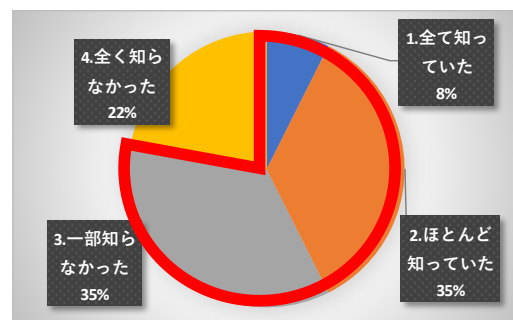
約8割の企業は日本の英語教育の四技能への変化を知っている

同様に、約8割の企業が 大学入試での四技能試験の活用について知っている

中小高で四技能教育が強化されていることを知っていますか？	個数	割合
1.全て知っていた	11	10%
2.ほとんど知っていた	36	33%
3.一部知らなかった	43	40%
4.全く知らなかった	18	17%
総計	108	100%

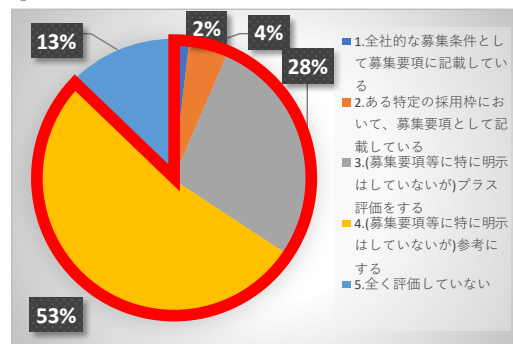


大学入試で四技能民間試験が広く活用されていることを知っていますか？	個数	割合
1.全て知っていた	8	7%
2.ほとんど知っていた	38	35%
3.一部知らなかった	38	35%
4.全く知らなかった	24	22%
総計	108	100%

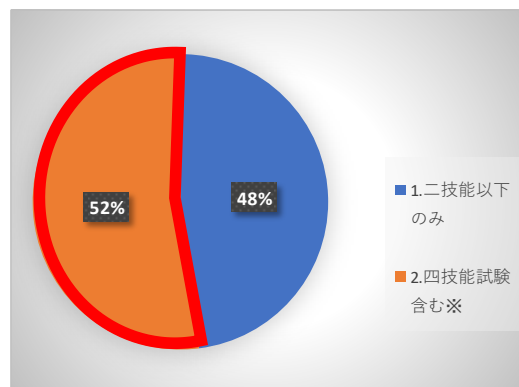


新卒採用で約9割が英語資格・検定を評価・参考にし、うち約5割が4技能を評価 四技能試験は英検。続いてTOEFL、TOEIC(四技能)

新卒採用において、学生の英語資格・検定取得実績をどの程度評価に取り入れていますか？	個数	割合
1.全社的な募集条件として募集要項に記載している	2	2%
2.ある特定の採用枠において、募集要項として記載している	5	5%
3.(募集要項等に特に明示はしていないが)プラス評価をする	30	28%
4.(募集要項等に特に明示はしていないが)参考にする	57	53%
5.全く評価していない	14	13%
総計	108	100%



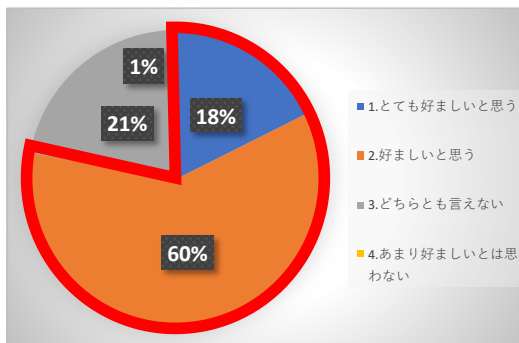
「学生の英語資格・検定取得実績をどの程度評価に取り入れていますか」に関する回答で、該当する英語要件を教えてください	個数	割合
1.二技能以下のみ	36	48%
2.四技能試験含む※	39	52%
総計	75	100%



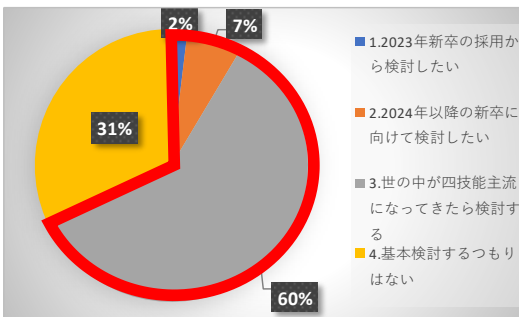
※(参考) 四技能を評価する企業の中での採用率は以下の通り	個数	採用率
1.英検	33	85%
2.TOEFL iBT	8	21%
3.TOEIC LRSW	8	21%
4.IELTS	6	15%

約8割が四技能を好ましいと捉え、約6割が今後新卒採用で動向見ながら検討

企業においても英語能力の測定が、二技能ベースから四技能ベースになることは好ましいと思いますか？	個数	割合
1.とても好ましいと思う	19	18%
2.好ましいと思う	65	60%
3.どちらとも言えない	23	21%
4.あまり好ましいとは思わない	1	1%
総計	108	100%

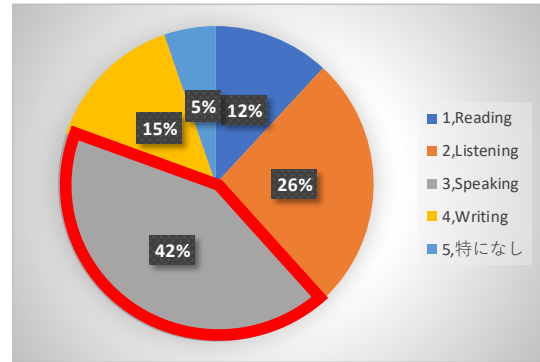


四技能ベースの英語試験成績について、御社の採用時の活用状況について以下の中から当てはまるものはどれですか？	個数	割合
1.2023年新卒の採用から検討したい	2	2%
2.2024年以降の新卒に向けて検討したい	7	7%
3.世の中が四技能主流になってきたら検討する	63	60%
4.基本検討するつもりはない	33	31%
総計	105	100%



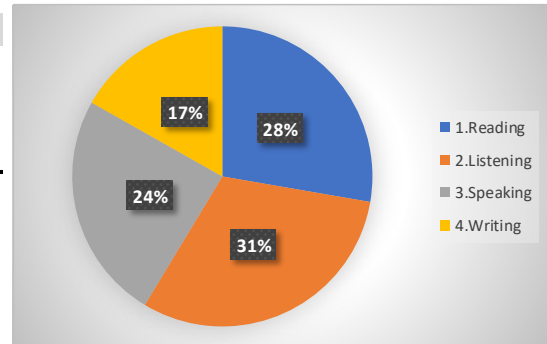
社員で最も不足しているスキルはSpeaking

社員の英語力で不足していると感じるスキルはどれでしょうか？		
	個数	割合
1,Reading	27	12%
2,Listening	60	26%
3,Speaking	95	42%
4,Writing	33	15%
5,特になし	12	5%
総計	227	100%



社内では四技能の能力をバランスよく向上することを重要視している

社内では能力向上が推奨されている英語スキルは何ですか？		
	個数	割合
1,Reading	61	28%
2,Listening	68	31%
3,Speaking	54	25%
4,Writing	37	17%
総計	220	100%



上述のサマリーに加え、本アンケートの企業からの回答結果（詳細は次頁からご参照）に基づき、以下、調査をふまえた考察を記載申し上げます。

【調査をふまえた考察】

- ご協力いただいた企業からのアンケート結果にもとづく判断ではありますが、多くの企業が、小中高大の連携による英語の四技能化に向けた、これまでの我が国の教育改革の施策、ならびに入試に四技能測定を中心とする外部の民間試験が広く活用されていることを概ね認識していることが明らかになっており、産業界でも、徐々に四技能の習得の重要性の意識が高まっていることがうかがえます。また今後もその意識の高まりは、増加していくものと予想されます。
- それに伴い、職場で英語を必要とする社員に対して、四技能をバランスよく向上させる研修も多くなるものと考えられます。
- 一方学生側は、英語を今後も活用することを意識し、企業に就職する際や、将来、企業内での昇進や昇格を意識し、小・中・高・大学で培った四技能の英語力を今後も永続的にバランスよく向上させることが重要と考えます。
- 我が国の英語教育改革が企業に徐々に浸透してきているとはいえ、まだ産学一体化とまでとはいえず、今後さらに拍車がかかることが期待されます。また、その実現のために、新卒採用時、また入社後においても、企業における一層の四技能試験の活用と、研修等も含めた教育制度の充実を図り、小・中・高・大・企業の連携強化が期待されます。
- 英語熱の高まりとともに、今や幼少期から四技能の学習を開始する方々も多く、学生から社会人へと徐々に属性があがる毎に、その時々各技能別のレベルをきちんと把握し、弱点を克服し、永続的に四技能の習熟を高めていくことが、グローバル人材の育成の早道と考えます。

本件のお問合せ・取材依頼先

公益財団法人 日本英語検定協会 kouhou21@eiken.or.jp

調査に関するお問い合わせ

株式会社マイナビ 就職情報事業本部 アンケート運営事務局 promotion@mynavi.jp

次頁より、アンケートの詳細を記載いたします。

【別紙】

調査対象：「東京証券取引所 第一部上場企業グループ」

および「マイナビ・日経 2022 年卒大学生就職企業人気ランキング文系・理系総合ランキング上位 100 位
 以内の企業」

調査期間： 2021 年 11 月 9 日～12 月 24 日

回答： 116 社

No.	回答状況	回答数	比率
1	業種		
	1,IT・通信・インターネット	10	9%
	2,メーカー	53	46%
	3,商社	12	10%
	4,サービス・レジャー	2	2%
	5,医療・福祉・介護サービス	0	0%
	6,流通・小売・フード	6	5%
	7,マスコミ・出版・広告・デザイン	3	3%
	8,金融・保険	7	6%
	9,コンサルティング	2	2%
	10,不動産・建設・設備	10	9%
	11,運輸・交通・物流・倉庫	4	3%
	12,環境・エネルギー・インフラ	2	2%
	13,教育・公的機関	0	0%
	14,その他	5	4%
	総計	116	100%
	実回答社数	116	
2	従業員規模	回答数	比率
	1.1～10名	0	0%
	2.11～50名	3	3%
	3.51名～100名	4	3%
	4.101名～300名	8	7%
	5.301～500名	7	6%
	6.501～1000名	18	16%
	7.1001～5000名	41	35%
	8.5001名以上	35	30%
	総計	116	100%
	実回答社数	116	
3	回答者の担当業務	回答数	比率
	1.新卒採用	97	36%
	2.中途採用	47	18%
	3.アルバイト採用	10	4%
	4.研修・育成	47	18%
	5.人事・労務	47	18%
	6.総務	12	5%
	7.経営・経営企画	3	1%
	8.決まっていない	0	0%
	9.その他	3	1%
	総計	266	100%
4	現在、御社の業務における英語使用の必要性はどの程度でしょうか？	回答数	比率
	1.多くの社員が必要	21	18%
	2.一部の社員のみ必要	82	71%
	3.今は必要ないが、今後必要	5	4%
	4.今もこれからも必要ない	8	7%
	総計	116	100%
5	御社の業務において、実践的な英語力(コミュニケーションスキル)の必要性は近年高まっていますか？	回答数	比率
	1.とても高まっている	25	23%
	2.まあ高まっている	34	31%
	3.どちらともいえない	29	27%
	4.あまり高まっていない	14	13%
	5.高まっていない	6	6%
	総計	108	100%

6	社員の英語力で不足していると感じるスキルはどれでしょうか？【複数選択可】	回答数	比率
	1. Reading	27	12%
	2. Listening	60	26%
	3. Speaking	95	42%
	4. Writing	33	15%
	5. 特になし	12	5%
	総計	227	100%

7	新卒採用において、学生の英語資格・検定取得実績をどの程度評価に取り入れていますか？	回答数	比率
	1. 全社的な募集条件として募集要項に記載している	2	2%
	2. ある特定の採用枠において、募集要項として記載している	5	5%
	3. (募集要項等に特に明示はしていないが) プラス評価をする	30	28%
	4. (募集要項等に特に明示はしていないが) 参考にする	57	53%
	5. 全く評価していない	14	13%
	総計	108	100%

8	「学生の英語資格・検定取得実績をどの程度評価に取り入れていますか」に関する回答で、該当する英語要件を教えてください	回答数	比率
	1. 英検	33	22%
	2. TOEIC L&R	67	44%
	3. TOEIC S/W	10	7%
	4. TOEIC Speaking	8	5%
	5. TOEFL iBT	8	5%
	6. IELTS	6	4%
	7. その他	19	13%
	総計	151	100%

9	上記試験を利用している理由を教えてください【複数選択可】	回答数	比率
	1. ビジネスに必要な英語力を正確に測定できるから	37	29%
	2. 多くの企業が導入しているから	36	28%
	3. 以前から利用しており不便を感じていないから	21	16%
	4. 受験料が適切だから	1	1%
	5. 会場や日程が多く受験しやすいから	7	5%
	6. その他	26	20%
	総計	128	100%

10	選考プロセスにおける英語力測定について教えてください【複数選択可】	回答数	比率
	1. 書類選考段階で評価ポイントの一つにしている	58	59%
	2. 書類選考段階で合否ラインを設けている	3	3%
	3. 英語面接を行っている	5	5%
	4. 英語の筆記試験を行っている	0	0%
	5. インターンで英語を活用する	0	0%
	6. 説明会で英語を活用する	1	1%
	7. その他	31	32%
	総計	98	100%

11	募集要項等に明示しない理由を教えてください【複数選択可】	回答数	比率
	1. 全社的に英語活用シーンが多くない・ない	59	47%
	2. 採用後に評価・教育を行うため採用時には求めない	36	29%
	3. 採用要件として提示すると志願者が減る可能性があるため記載していない	12	10%
	4. 適切に能力を評価できる試験がない	6	5%
	5. その他	12	10%
	総計	125	100%

12	今後、英語力を採用選考基準に追加する予定はありますか？	回答数	比率
	1.すでに現在検討中である	2	2%
	2.これから検討したい	18	18%
	3.検討したことはあるが、見送った	2	2%
	4.追加する予定はない	72	71%
	5その他	7	7%
	総計	101	100%

13	新卒採用における学生の英語力は近年上昇しているとの実感はありますか？	回答数	比率
	1.とてもそう思う	15	14%
	2.そう思う	44	41%
	3.普通	30	28%
	4.あまり思わない	14	13%
	5.思わない	5	5%
	総計	108	100%

14	御社の求める英語力は、大学での教育で満たされているとお考えですか？	回答数	比率
	1.期待通り	11	10%
	2.あまり期待しておらず現状に不満なし	63	58%
	3.もっと高い英語力が必要で不満	26	24%
	4.全く不満	4	4%
	5.その他	4	4%
	総計	108	100%

15	小中高で四技能教育が強化されていることを知っていますか？	回答数	比率
	1.全て知っていた	11	10%
	2.ほとんど知っていた	36	33%
	3.一部知らなかった	43	40%
	4.全く知らなかった	18	17%
	総計	108	100%

16	大学入試で四技能民間試験が広く活用されていることを知っていますか？	回答数	比率
	1.全て知っていた	8	7%
	2.ほとんど知っていた	38	35%
	3.一部知らなかった	38	35%
	4.全く知らなかった	24	22%
	総計	108	100%

17	現在、社内で人事評価、従業員のスキル測定等で英語試験をどのように利用していますか？	回答数	比率
	1.昇格要件、海外駐在派遣等の指標にしている	26	24%
	2.定期的なスキル測定に活用している	3	3%
	3.研修などの効果測定に利用している	6	6%
	4.自己啓発として従業員に推奨している	44	41%
	5.その他の目的で利用している	1	1%
	6.全く利用していない	28	26%
	総計	108	100%

18	社内で能力向上が推奨されている英語スキルは何ですか？	回答数	比率
	1.Reading	61	28%
	2.Listening	68	31%
	3.Speaking	54	25%
	4.Writing	37	17%
	総計	220	100%

19	社内で取得が推奨されている英語試験をお選びください【複数選択可】	回答数	比率
	1.実用英語技能検定（英検）	7	8%
	2.TOEIC	75	81%
	3.CASEC	4	4%
	4.Linguaskill	6	6%
	5.Versant	1	1%
	総計	93	100%
20	上記試験を利用している理由を教えてください【複数選択可】	回答数	比率
	1.業務に必要なビジネス英語スキルを正確に測定できるから	37	30%
	2.多くの企業が導入しているから	37	30%
	3.以前から利用しており不便を感じていないから	29	24%
	4.受験料が適切だから	5	4%
	5.会場や日程が多く受験しやすいから	9	7%
	6.その他	6	5%
	総計	123	100%
21	上記試験は、英語の活用目的を果たしていますでしょうか？	回答数	比率
	1.とてもそう思う	5	6%
	2.そう思う	34	43%
	3.普通	35	44%
	4.あまり思わない	6	8%
	総計	80	100%
22	CEFR（外国語の学習者がどのレベルまで習得しているかを判定するための国際的なガイドライン）をご存知ですか？	回答数	比率
	1.知っていた	25	23%
	2.知らなかった	83	77%
	総計	108	100%
23	御社のCEFRの活用状況は以下のうちどれですか？（ご存知の企業）	回答数	比率
	1.既に社内教育及び新卒採用で活用済	0	0%
	2.社内教育でのみ活用済	5	20%
	3.今後の活用に向けて検討したい	9	36%
	4.基本検討するつもりはない	11	44%
	総計	25	100%
24	御社のCEFRの活用予定は以下のうちどれですか？（2,ご存知ではない企業）	回答数	比率
	1.社内教育及び新卒採用で活用したい	0	0%
	2.社内教育でのみ活用したい	0	0%
	3.今後の活用に向けて検討したい	15	18%
	4.基本検討するつもりはない	68	82%
	総計	83	100%
25	企業においても英語能力の測定が、二技能ベースから四技能ベースになることは好ましいと思いますか？	回答数	比率
	1.とても好ましいと思う	19	18%
	2.好ましいと思う	65	60%
	3.どちらとも言えない	23	21%
	4.あまり好ましいとは思わない	1	1%
	総計	108	100%
26	四技能ベースの英語試験成績について、御社の採用時の活用状況について以下の中から当てはまるものはどれですか？	回答数	比率
	1.既に採用済	3	3%
	2.2023年新卒の採用から検討したい	2	2%
	3.2024年以降の新卒に向けて検討したい	7	6%
	4.世の中が四技能主流になってきたら検討する	63	58%
	5.基本検討するつもりはない	33	31%
	総計	108	100%

以上